

令和元年度嬉野市文化講演会

令和元年6月22日(土) 13:30～15:00

講師 佐賀清和学園理事長、佐賀新聞社名誉論説委員長
富吉 賢太郎 氏

演題 「コラムの世界 ～ 本のある風景」



佐賀新聞の「有明抄」については、読者が朝一番の楽しみにしている記事の一つであると思います。世情の見方や考え方の方向性を分かり易く示していただく貴重な資料でもあります。また、学校では「有明抄ノート」を使って、国語の教材として視写や討論の資料にもなっています。

富吉様のエネルギーで、情熱溢れるご講演に聴衆の皆さんも惹きこまれ、これからの社会に期待する想いを聴かれています。今日は、読者にとってとても関心の高い「有明抄」の執筆者のお話を聴きたいという方々の来場が多かったです。アンケート集約結果でも、拝聴したいという熱望とご講演による感動の大きさがよく判りました。

現在の社会を取り巻く状況には、様々な課題があります。少子高齢化、情報化社会、経済の低迷などの生活環境の変化は、加速度的に顕著なものです。また、最近は高齢者に関わって免許返納や年金などのニュースも不安なこととして話題になっています。そういう中で、今回の講演によってこれからの生き方の指針について、具体的に分かりやすく示していただきました。

「なぜ本を読まなければならないか。」「学校で先生から学ぶのはほんのわずか。他は何から学ぶのか。」という問いかけにおいて、今、全ての世代において最も認識すべきことでありましょう。学校教育、社会教育、生涯学習において、「本」が必須であることに実感が持てるように努めていくことが急務であると思いました。